

1 自己評価及び外部評価票

【 事業所概要(事業所記入) 】

事業所番号	2090100120		
法人名	(有)長野カイゴサービス		
事業所名	桜の園グループホーム		
所在地	長野県長野市桜新町724番地		
自己評価作成日	H30年7月18日	評価結果市町村受理日	平成30年11月28日

※事業所の基本情報は、公表センターで閲覧してください(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	-----------------------------------------------------------------------

【 評価機関概要(評価機関記入) 】

評価機関名	株式会社マスネットワーク
所在地	長野県松本市巾上9-9
訪問調査日	平成30年8月29日

【 事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入) 】

桜の園グループホームは、隣接する病院と連携をとり、顧問医師には日常的に健康管理を行ってもらい早期対応に努めています。また、共通認識である「ゆっくり・のんびり・にっこり」は利用者様と介護者が共に過ごしていく考えの大きな柱となっています。地域との関係では推進会議などで意見を頂いたり、行事への参加もさせていただき、相互理解を深めています。同町内の入居者も3名おり、地域に根ざした施設になっていると思います。

【 外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入) 】

桜新町という住宅街にあり、少しずつ地域に根ざす取り組みがなされ、地域の方の協力も得られてきている。事業所理念の下、管理者をはじめ職員が利用者の意向にきめ細かに答え、常に利用者本位、利用者の笑顔を第一に考えケアに努めている。また、協力医が隣接の病院にいるため体調変化に迅速に対応でき、医療面の安心があり、同町内での入居者も3名となって地域の安心となっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。

ユニット名(1F)			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目：23, 24, 25) ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20) ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) ○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている。 (11, 12) ○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 ○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名(2F)			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)
	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない		○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)
	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない		○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	66	職員は、生き活きと働いている。 (11, 12)
	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		
	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果 1F

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所「理念」としてホーム内の玄関と廊下に掲げて管理者と職員が共有している。「ゆっくり・のんびり・にっこり」を共通認識としている。	事業所の理念を事務所に掲げ、また家族向けにも新たに理念を載せた事業所のパンフレットを作成している。管理者をはじめ職員一人ひとりにも理念が共有されている様子が介護の実際の現場で確認することができた。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の自治会に加入し、公民館での文化祭やふれあい会などに参加して交流を深め、地域のボランティアの方々の受け入れを行っている。	地区の自治会に入り、地区の行事(獅子舞、文化祭等)に参加したり、ボランティアの受け入れも運営推進会議を活用し進めている。	今後、地域への発信や、今まで以上に地域とのつながりを深め、ボランティア等の受け入れも強化していくことを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事に参加したり、地区消防団の方や、役員の方などに見学していただき、理解を深めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	区長、民生委員、市の担当者、近隣の地域包括支援センター長、家族会会長を迎えて、年6回意見交換や指導を頂きサービス向上に努めている。	年6回定期的に先の方々が参加し、開催されている。内容についても詳細に記録が残されており、会議の内容が職員家族へも周知されている。また、継続的に議論を深めることができ、ケアの向上に努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議にも参加いただいたり、連絡や相談は常に行い、協力いただいている。	運営推進会議時はもちろんのこと、直接市に出向き、法的な相談や、利用者の状況について理解を深めてもらえるよう密な連携が取れている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアを目指し「身体拘束廃止に関する指針」をまとめて職員は理解に努めている。現在お一人の方が「つなぎ服」使用だが本人の尊厳を大切にしている。	現在身体拘束(つなぎ服使用)の方をケアすることにより、職員一丸となって身体拘束の理解や身体拘束の指針の作成をし、拘束のないケアを葛藤の中目指している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体的虐待、心理的虐待、ともに全職員が意識し注意している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個人の権利を擁護することは重要であり、研修資料を職員が共有し、理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前には必ずご本人・ご家族に見学していただき、契約内容の説明後は十分に理解いただけたか、不安をとるための話し合いも行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年1回ある家族会にはほとんどのご家族が参加され意見交換している。また、ご家族の面会も多いのでその都度、ご意見や思いを聞いて要望に応える様務めている。	家族の面会が多いため、その都度様子を伝えたり、意見交換ができる雰囲気を大切にしている。来れない家族には電話等で確認したり、様子を伝えている。預り金についても定期的に伝え確認をとっている。	利用者の様子等担当職員が定期的に書面で報告する等工夫し、実践することを期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員からの意見や提案の疎通性はよく、全員参加のミーティングはできないが、機会があるごとに問題は取り上げ納得のいくまで話し合い、前に進んでいる。	管理者は日々職員の状態を気にかけて意見を言いやすい雰囲気に努めている。申し送り等短い時間で職員の意見を吸い上げ運営に反映している。また、代表者もブロック塀の改修や労働環境の改善に迅速に対応されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	良好な人間関係から、良い環境が出来つつあるので、やりがいのある職場環境になっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	多人数での研修はなかなか実現しませんが、個別での研修を職員間で共有している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	同業として地域のグループホームとの交流を深め情報交換に努めたい。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	不安を抱えての初期段階には、全職員が傾聴を心がけ、気持ちに寄り添い、信頼関係を作るようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族との連絡を密にして、様子をお伝えし、利用者のご家族の不安なことなどにも耳を傾けている。利用者ご家族とは信頼関係にあると思います。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者のご家族の求めていることを把握して、支援の方向を決めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者の心に重すぎない介護を心がけ、共に生活し、笑い合える関係として「ゆっくり・のんびり・にっこり」と過ごしていきたいと思っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の気持ちにも寄り添いながら、利用者理解し、共に支え合っの支援を目指している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方々の面会も自由ですので、友人、ご親戚の方々の面会が多くあり、共に過ごす時間を大切にしている。また、ご家族との外出・外泊を楽しみにしている利用者もいる。	近所の友人が面会に来たり、昔利用していた美容院に行ったり、家族の協力を得て家に行ったり、馴染みの関係が継続なされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ほとんどの利用者が日中はホールで過ごしていますので、利用者同士の会話や支え合いが出来る様に職員も関わり支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所された方はそれぞれ適切な支援や医療機関に恵まれているのでその後の支援は特にしていない。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の入居前の生活歴や価値観・趣味などを把握しそれぞれが無理のない楽しみをもって生活できる様に心がけている。	事業所独自の「できることできないことシート」を活用し、日々の生活の中で、会話や表情等から思いを探り、困難な場合は、職員全員が利用者と接する中から、思いをくみ取り、意見交換し本人の意向に添えるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時の本人からの聞き取りと、ご家族からのお話や、日々の会話の中から生活歴などの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	共に過ごす中で、本人の希望にできる限り添える様に一日の過ごし方を考える様にしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	個別の介護計画を全職員で共有しているが、日々の記録やモニタリングから介護計画への流れが出来ていないのが現状となっている。	利用者の意向、家族の意向を踏まえ、職員全員で考えプランに反映し、日々のケアで実践しているが、そこに至るまでの体制の構築を模索、検討しているとの話があった。	チームで作る介護計画を、現在より一層深めた内容にする様、体制の整備を期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個別記録やバイタルのほかに排便管理や食事量・水分量等の個別管理をして、体調に合わせた介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご家族や友人との外出や外泊の支援をし、美容室への外出などそれぞれの希望に少しでも添える様にしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の方の音楽ボランティアなどの参加をお願いし楽しみの時間が少しでも多く取れる様にしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力病院が隣接しており、かかりつけ医による日々の健康管理もできている。歯科医院は往診対応もしており、専門医院はご家族の協力を得ている。	入所時にかかりつけ医の希望を確認し、意向に添って対応している。隣接する協力医は定期的に往診し、随時家族への状態報告もされている。かかりつけ医、専門医の受診は基本家族が行い、事業所での状態、医師からの報告等連携が取れている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の服薬の分包や管理は看護師が行い、利用者の体調に対しては、介護士、看護師、医師との連絡がスムーズになっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時は情報提供書などにより詳しい情報を交換して良好に行われている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	現在、ご家族からの希望により重度化した利用者の介護も行っているため、ご家族・医師を交えての話し合いを何度も行い気持ちに添うようにしている。	利用者の重度化に伴い、日々変化する家族の意向をきめ細かく把握し、気持ちに寄り添い支援している。また事業所で出来る事、出来ない事についても的確に家族に伝え、家族、医師、看護師、管理者と連携の取れた看取りが行われていた。	現在看取りを実践しているとのことと、家族の思い、チームで支援していく過程を詳細に記録に残し看取りの研修を行い、今後のケアの向上に活用することを期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時マニュアルは、全職員で理解に努めているが、ほとんど隣接病院の担当医師に頼っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	スプリンクラーの設置も完了しており、全職員が火災訓練を行い認識を高めている。市の消防署による指導と共に、地域の消防団にも協力をお願いしている。	年2回昼夜の想定で通報訓練も含め実際に利用者の誘導避難訓練を地域の方の協力を得て行っている。	地震や水害、災害に伴う停電等の防災マニュアルの作成と様々な災害を想定した防災計画と避難訓練の実施、また水や食料等の備蓄も併せて検討することを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	プライバシーの保護は常に意識することを心がけている。また個人の尊厳や誇りに対しては親しみやすさとの関係で勉強が必要と思っている。	利用者一人ひとりに対し、人格を尊重した声掛けがなされている実際の場面が確認できた。(食事時の声掛け等)	親しみやすさと尊敬の気持ち等について模索している話も聞けたので、「尊厳とはなにか」等についても今後、一層深める研修を期待したい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が自己決定できるような声掛けになるよう努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事とおやつ以外の時間帯は、個々の生活のペースで生活しており、自立度の高い方で洗濯、居室の片づけを行っている人がおり、見守りをしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪や爪の長さには常に気を配っているが、おしゃれとしての支援は清潔優先になってしまい、楽しむところまでは行えていないと思う。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	栄養面の管理はしっかりしており、バラエティーにも富んでいるが、今は利用者と共に作ることはできなくなり、食事介助が増えた。個別対応として、粥、きざみ、ミキサー食などにし、楽しい時間になるように努めている。	庭に畑があり、収穫したものが食卓に並べられたり、家族の協力を得て外食に出かけ、食事を楽しんでいる。個々の状態に合わせ、食事形態を工夫し安全に食べられるように支援している。また季節ごとのメニューも工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食べる量、栄養バランス、水分量とも個別に把握し、嗜好により別メニューにも対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	介助の必要な人も含めて9人全員が毎食後口腔ケアを行っている。義歯の方は夜間に消毒している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	車いす利用者も介助による立位が保てるうち、夜間もおむつにせずトイレ使用を目標に職員が頑張っている。	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを把握し、できるだけトイレでの排泄を支援している。「実際に改善された例もあった。」との話があった。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便管理は、個別の表にして行い、医師との連携により対応が出来ている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている。	1人週2回、全員介助のもと個別入浴を楽しんでいる。重度者は、2人対応で機械浴を行っている。清潔を保つ為、臨機応変な対応もしている。	基本週2回の入浴であるが、本人の意向で時間や日にちを変更したり、拒否がある場合は、清拭で対応している。重度者にも入浴可能な機械浴が備わっている。今後季節風呂の実施も行っていくとの話が聞かれた。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	夜間対応は、個別のリズムに合わせたトイレ介助をして、安全に眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	全職員がわかるように個別服薬表と効能を張り出し、服用に対する確認に努めている。症状の変化については医師と連絡を取っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者の得意とする編み物やぬり絵など楽しみの支援をしている。役割として洗濯物たたみ、雑巾縫い等をお願いしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候の良い日など、外庭で体操や畑の野菜取りなどで気分転換がはかかれている。希望の外出には、家族の協力も欠かせず支援を頂いている。	庭は、散歩や外の景色を楽しめるように施設の周囲を一周出来る様整備され、季節や天候に合わせて活用されている。また家族の協力で外食、外出も行われている。年間では、花見、紅葉ドライブ等計画されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ホーム内ではお金を使うことがなく、金銭の理解が出来なくなっているため、必需品はご家族からの預り金により揃えている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族の希望により、携帯電話所持の方も数名おり、ホーム内の電話取次は自由に行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	日中ほとんどの利用者が過ごすホールは、みんなの顔が見られるように集合テーブルにし、職員と共に過ごせる空間づくりに配慮している。また、毎月大型ぬり絵を仕上げ、季節がわかるようにしている。	日中はほとんどの利用者が集合テーブルに集まり、皆の笑顔が見られるよう工夫されており、大型塗り絵を熱心に仕上げている姿が見られた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	集合テーブル以外に、ソファ一部分を2か所作っており、気の合う利用者同士が座って語り合う姿が見られる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	それぞれの居室は、ご家族と本人の好みにより馴染んだ家具を持ち込み個々に趣があり清潔で居心地の良い空間とするよう清掃を支援している。	各居室は使い慣れた家具が持ち込まれ、清潔で落ち着いた雰囲気となっていた。また、利用者の作品や、家族の写真も飾っており、安心できる空間になっていた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室から、トイレやホールなどに手すり使用で歩行が出来る様になっている。トイレも十分な空間がある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		日々の記録・介護目標・モニタリング・介護計画へと流れのある体制が整っていない	本人・家族の考えを踏まえ月別介護目標により計画を立てる	記録の簡素化に加えて介護計画までの体制を整える	6ヶ月
2		介護に対する基本的な考え方やスキルに個人差がある	職員の介護に対する意識や技術のスキルアップ	ホーム内研修の充実を図る	12ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。